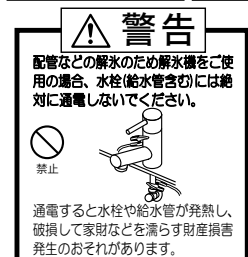


施工説明書

洗面所用単水栓

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

- ここに示した **△警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **△注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



凍結が予想される際は、水抜き方法に従って配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



水抜きしないと凍結破損で漏水し、
家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

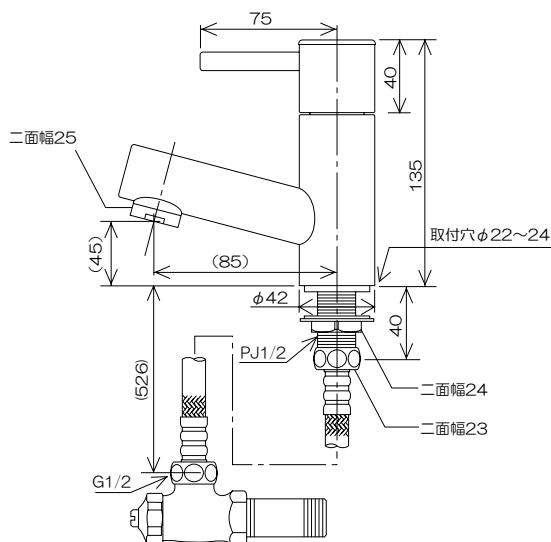
- ① 使用水压〔A=配管圧力損失〕
【給水圧力】最低必要水压：A+50.0kPa（動水压）、最高水压：0.75MPa（静水压）
- ② 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ③ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ④ 本製品の通水温度は、35℃以下です。
- ⑤ 本製品は改造（加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等）によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑥ 通水検査をしますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

This diagram shows the exploded view of the sprayer assembly. It includes the following components and labels:

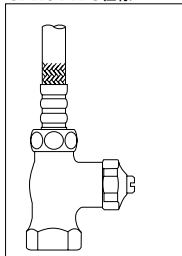
- レバーハンドル** (Lever handle): A cylindrical handle with a T-shaped cross-section, shown above the main body.
- 本体** (Main body): The central vertical cylindrical component.
- 吐水口** (Nozzle): A small, angled nozzle attached to the bottom of the main body.

寸法図

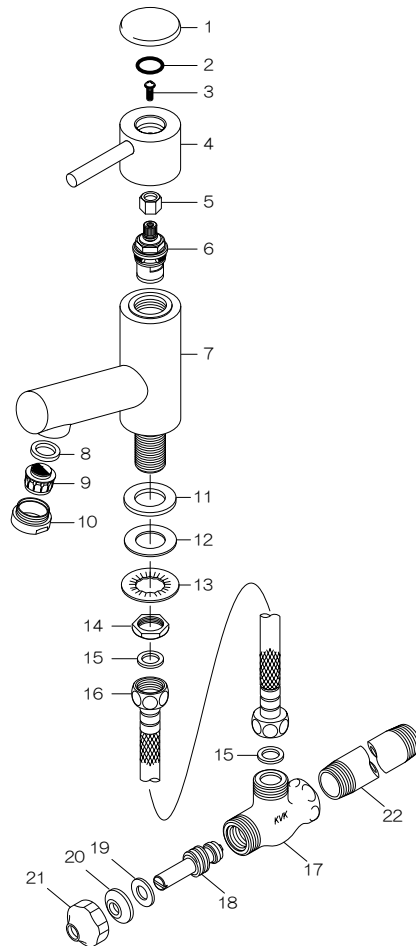
(単位: mm) イラストはGPH01TFAです



GPH01TFS仕様

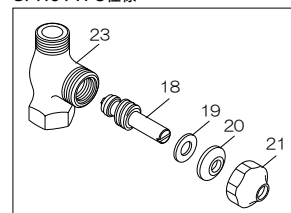


分解図



1	キャップ
2	Oリング(P16)
3	ねじ(M4×15)
4	レバーハンドル
5	ハンドル金具
6	セラミックバルブ
7	本体
8	バックン
9	泡沫器
10	泡沫器キャップ
11	シートバックン
12	輪バックン
13	菊座
14	取付ナット
15	輪バックン
16	給水ホース(L=482)
17	アングル形止水栓本体
18	スピンドル
19	平座金
20	三角バックン
21	袋ナット
22	ニッフル(L=51)
23	ストレート形止水栓本体
24	締付具

GPH01TFS仕様



イラストはGPHO1TFAです

取り付け手順

1 給水管内の清掃
配管工事後、必ず給水管内を清掃してください。

2 止水栓の取り付け
止水栓からニップルをはすし（ニップルは仮締めしてあります）、両側にシールテープを巻き接続してください。（GPHO1TFSの場合は、配管にシールテープを巻いてください。）
GPHO1TFA仕様
GPHO1TFS仕様
止水栓
シールテープ
配管
ニップル

3 本体の固定
洗面ボウルの取付穴周囲の汚れを取り除いた後、本体裏側のシートバッククのセパレート紙をはがしてから、本体を洗面ボウルに仮止めし、下面より同梱の締付工具を使用して取付ナットで固定します。
注意
セパレート紙は必ずはがしてください。セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が緩んだり、ガタツキが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
取付ナットの締め付けは、同梱の締付工具で確実に行ってください。しっかり締め付けられないと、本体が緩んだり、ガタツキが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
レバーハンドルを持って締め付けますと破損のおそれがありますので、これらは持たないでください。

レバーハンドル
本体
取り付け穴
φ22~24
シートバックク
セパレート紙をはがして
両面テープで固定
締付工具
取付ナット用
袋ナット用
締付工具
取付ナット
しめる

4 給水ホースの取り付け
注意
接続は同梱の締付工具で締め付けてください。締め付けトルクの目安は、約2000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水の原因となります。
締付工具
取付ナット用
袋ナット用
イラストは GPHO1TFA です
① 同梱の締付工具を使用して、給水ホースの袋ナットを本体に接続します。
② 同梱の締付工具を使用して、給水ホースの袋ナットを止水栓に接続します。
【お願い】 給水ホースは切断しないでください。
注意
給水ホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、よじったり、本体根元で曲げたりしないでください。（A図）急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
上下戻り配管はやめてください。（B図）ウォーターハンマーなどで給水ホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
給水ホース同士の接触及び、壁などへのブレードホースの接触は避けてください。接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

締付工具
取付ナット用
袋ナット用
締付工具
取付ナット
しめる
A図
B図

取り付け後の点検と清掃

通水確認
注意
水栓を取り付け後、通水して水の出し止めを5〜6回繰り返して、配管接続部及び止水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

泡沫器清掃のお願い
吐水口の泡沫器にゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。
① 全開で20〜30秒吐水させます。
② 吐水口の泡沫器キャップをはすす方向にひねって、泡沫器を取りはすします。
③ 泡沫器をブラシで水洗いします。
清掃後は、はすした逆の手順で組み立ててください。泡沫器キャップの締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

流量調節
レバーハンドルが全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。
GPHO1TFA仕様
GPHO1TFS仕様
止水弁
あける
しめる

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お問い合わせいただくところ	処置	参照ページ及び項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「流量調節」
	泡沫器にゴミ等がつまっていますか	泡沫器を清掃する	7ページ「泡沫器清掃のお願い」
	泡沫器は凍っていませんか	泡沫器にぬるま湯をかける	—
吐水が飛び散る	泡沫器にゴミ等がつまっていますか	泡沫器を清掃する	7ページ「泡沫器清掃のお願い」

注意
[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]
修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。